アルファ159TEZZOバージョンの製作は着々と進行している。サスペンションは今回もまた、何度もリセッティングを繰り返し、ようやく完成の域へ達しつつある。そして、サスペンションと同じくらい大切なパーツである、タイヤとホイール選びを今回はレポートしよう。

[連載] Vol.32

TEAM KEEP ON RACING & TEZZO

ホイールとタイヤ選びは奥が深い

文：隠岐麻里奈　撮影：神村　聖/編集部
取材協力：チェッカーモータース、POTENZA、Prodrive-Japan、コクピット21世田谷

タイヤとホイールはブリヂストンのタイヤ専門店である『コクピット21世田谷』にて装着してもらった。フェンダーとの干渉をチェック中。

ホイールはプロドライブのCG-014iをチョイスした。フェンダーツライチに合わせることで、より踏ん張り感のあるスタイルに。

太田さんには、ホイール選択についての明確なイメージがあるようだ。確かに、これまで鍛造ホイールにこだわってきた。それは軽量化による運動性能の追求が理由なのだろうか？

「それもあるけど、乗り心地のためにもバネ下の軽量化は外せない要素なんだ」

ご存知かと思うが、鍛造は鋳造に比べて軽い。TEZZO製品でいえば1本につき約4kg軽い。バネ下重量軽減はバネ上と比較して効果は3～4倍効果があると言われる。

「重いものがぶら下がっているより、軽い方が乗り心地がよくなるのは当然」

太田さんは、以前、新型インプレッサSTIで鍛造と鋳造を乗り比べて、その乗り心地の差に驚いたという。

「鍛造は、とくに凸凹路面の連続で収束が早いから乗り心地がいい。鍛造というとスポーツ用という先入観があるけど、街乗りにも鍛造はいいんだよね」

それにアルファ159の場合、鋳造を選ぶなら、デザインも豊富な純正オプションから選べば十分だ。ところが、TEZZOのホイールは鍛造だが、159適合のサイズはまだ設定がない。そこで、太田さんが探し、選んだのが「プロドライブ」のホイールだった。

「色もつや消しのガンメタでTEZZOの雰囲気がある。俺が目指すスポーツラグジュアリーっぽさが増すと思った」

次は、タイヤだ。ちなみにアルファ159は日本仕様は17インチとオプションで18&19インチがある。太田さんはインチアップしてくるだろうが、どんなイメージを考えているのだろうか。

「19インチだと、タイヤの銘柄やサイズの選択肢が極端に狭くなるし、乗り心地と操安性のバランスを考えても18インチが最適じゃないかな」

純正オプションの標準サイズの幅は235だが、太田さんのチョイスは？

「超扁平タイヤの場合、細いタイヤで空気量がないとバネ効果が発揮できず、乗り心地が悪くなることもある。エアボリュームを稼ぐ意味でも、見た目の面でも俺は245でいきたい」

でも、標準サイズより一回り大きい。車高もすでに30㎜ダウンしている。入るかどうか心配である。

「でも、もし入ればギリギリなほどカッコいい。245で攻めようよ。読者のタイヤ選びの参考になればうれしいね」

結局、太田さんの読みは当たり、タイヤは無事に収まった。左右に切って10㎜以内の干渉しないギリギリにおさまってくれた。フェンダーとの隙間も狭く、側面もツライチで見た目もカッコイイ。

実際にクルマを走らせてみると、「予想以上にいいよ」と太田さんに笑顔が浮かんだ。ステアリングを切ったときの食いつき感が加わり、タイヤを代えたことでクルマに重厚感が出たという。

「乗り心地はいいけど、スポーツフィーリングもちゃんと入っている」

いままでに159に試作品のバネ、スタビリングなどを装着した。今回、タイヤ、ホイールを装着した。乗り心地と操安性のバランスを求めるために、パーツ単品で効果を狙うのではなく、総合バランスをとってきた。

その走りは、荷重のかかったタイヤの外側で曲がるのではなく、左右輪をしっかりと面で押さえつけて平行移動するようになった。コーナーの前で意識的に荷重移動させなくても、普通の速度でもぐっと曲がれる。

「結局、そういうクルマは一般の人も運転がしやすいんだよ」

イメージする走りのできるクルマに近づいた感触を得た太田さんは、こんなことを言うのであった。

「BMW、M3やレクサスーSFのような乗り味になった。開発者たちにこの159を乗せてみたいな」

タイヤはブリヂストンRE-11

タイヤはブリヂストンの新作ポテンザRE-11を選択した。サイズは、245/45/R18。その意図は、159には希薄だったスポーティな感触を与えたかったためだ。結果的には、路面への食いつき感が出て、ステアリングを切ったときの手ごたえが気持ちよくなった。さらに、地面に吸い付いて走っているような感じと、上々のフィーリング。これまでの縦方向に加え、横方向のグリップが増していて、なおかつ乗り心地もいい。今度はサーキットで試してみたい。

昨年、好評だった「TEZZOドライビングレッスン」を今年もやります。太田さんを講師に迎えて、ドライビングレクチャー（座学）や同乗走行など、盛りだくさんな内容です。基本的に輸入車ユーザーが対象です（他の車種で希望の方は、お問い合わせください）。第1回は、4月20日に仙台ハイランドにて行う予定。詳細などは、下記連絡先までお問い合わせください。■TEZZO：TEL：03-5465-2553　e-mail info@tezzo.jpまで。